

Q16 参加した感想を、自由に書いてください。

### ① 地域振興とデータサイエンス

- ・限られた時間の中で班で意見をまとめ、伝わるようなプレゼンテーションをつくるのは難しかった。特に、数値化されるようなデータもなく、現状についての知識も浅かったので、アイデアを膨らませにくかった。しかし、前回のフィールドワークの話や班での意見交換によって、良いアイデアができたのでよかった。
- ・班で出た一人一人の意見を上手くまとめて、一つを軸として展開した話し合いができてよかった。
- ・デザイン思考がより上手くなったと思う。この経験を次のF Sや他の機会でも活かしていきたい。
- ・参加してみて、多くの視点から物事を見ることができた。
- ・自分たちで体験して課題を考え、発表をする体験はあまりできないので、A期を3回受けて、課題を見つけ考える力が身についたと思った。
- ・米沢の観光について良く学べたのでよかった。
- ・今まで学んだことを含め、班で話し合い、まとめられたのでよかった。今回出したアイデアが、地域振興につながればいいなと思う。
- ・自分の地域に対する考えが深まりました。
- ・道の駅で得た情報をもとに、グループでどのようにすれば米沢の振興につながるか考え案をまとめることができた。
- ・自分たちで調べてプレゼンまでしたので、良い経験になった。
- ・今まで行ってきたF Sの中でも、今回のF Sは最も意義のある活動になったと思う。2人だけではあったが、互いにアイデアを出し合って、最終的にはとてもおもしろい案を出すことができたので満足している。ベストプランに選ばれなかったことは悔しいが、他の班の意見から自分が思ってもみななかった発想をたくさん拾うことができたので良かった。今後は、前期の活動を活かして、後期のF Sでも積極的に挙手・発言を行い、より良い活動にしていきたいと思う。
- ・自分たちなりに素晴らしい発表ができてよかったと思います。とてもたくさんのことを学び、考え、大切な経験になりました。
- ・地域振興について考えてみて、米沢に住んでみいると、普段どのように観光客の方が訪れるのかなどを知っているつもりだったけれど、観光について知れば知るほど知らないことがたくさんあることに気付かされたし、これからも地域について考えていきたいと思いました。
- ・3回を通じて、地域振興に対する考え方や向き合い方が変わった。また、仲間と1つのものをつくる力もつけることができた。
- ・グループワークやフィールドワークを通して色々な意見を考え練ったり、お客さんに直に質問して肌で感じるなどして成長することができたし楽しかった。
- ・3回の研修を通して、地域の魅力について深掘りしたことで、今までとは違った視点から課題を見つけられた。
- ・地域の課題を解決するための企画を考えるのは意外と楽しかった。今回は、自分の意見をたくさん出すことができなかつたので、もっと様々な視点で考えるということができるようにしたい。
- ・自分の地元である“米沢”の振興に対して考えるいい機会になった。米沢をよりよい市にしていける取り組みをこれからも考えていきたい。
- ・話し合いをされていて、納得していない状態で次の話し合いに進むことが多かったので、次回からは、タイムを気にしながら話し合いを進めていきたい。
- ・今回、改めて地域振興をすることの難しさを実感する良い機会になった。

## ② 人文学とサイエンス

- ・参考資料が手元にあったため講義も受けやすかった。
- ・人と人を区別することに疑問や違和感があったので、区別することについて深く考えさせられる良い機会となった。区別するときは、その区別が正当か不当か十分に考えようと思った。
- ・今回は、対面ということもあったのかもしれないけれど、とても集中して、いつもより深く考えたり、様々感じたりすることができた。
- ・ジェンダーに関わる問題、多様性について、「社会的背景」「法律」「人々の意識」などの観点から考えることができた。(6)特に社会生活上の男女の区分について、江戸末期までは「性別」よりも「身分」を重視していたゆえ、区分が進んだのは近代に入ってからだということに驚いた。
- ・まずは知識と広い心が必要であることを知った。メディアの情報をそう簡単に信じるべきではないと思った。
- ・性に関する法律の話にくわしく聞くことができ、さらに関心が増した。
- ・もともとジェンダーの多様性には興味があったので、自分自身の問題として受け止められた。
- ・あまり自分で考えたことのないものだったけれど、納得できる内容がたくさんあった。
- ・性というのは、一人一人が持っているものなので、多様性を尊重していきたいと思いました。

## ③ 教育と科学

- ・授業していくなかでこうした方がいいなと思ったり、人の授業を聞いておもしろいなと思ったりして、とても楽しかった。
- ・模擬授業であるものの、製作するのは楽しかったし、皆の授業もクオリティが高く、受けていておもしろかった。
- ・思ったよりもグダグダになってしまった模擬授業だったけど、自分の思った通りにならないところが授業なのか？と感じた。
- ・教育の重要性について、実際にやってみて、肌で感じることができた。
- ・それぞれのグループで工夫した模擬授業ができたのでよかった。勉強ができる生徒にも、苦手な生徒にも気を配る授業を意識してすることができた。
- ・大人数の進捗状態を確認しながら授業を進めるのが難しかった。黒板の文字の大きさや声の出し方など、改善すればさらに良くなる点がたくさんあった。他のグループの授業では、図形を作ったり、スライドを用いたり、様々な工夫をしておもしろかった。
- ・人に伝わるように説明する力がつきました。人に教えるということは、自分の理解がそれ以上であるということなので、今の勉強を深く理解できるようにしたいです。
- ・教育の仕方を鮮明に知れた。
- ・模擬授業をしてみて、授業のスピード感が難しかった。Eグループはスライドを活用しており、あらかじめまとまっているため、わかりやすかった。
- ・教え方に少し分かりづらい部分があったから、そこを反省して、もっとわかりやすくするためにはどうすべきかを考える。他のグループの教え方が、疑問を残さないほど完璧で、真似したいと思った。
- ・先生の大変さを実感しました。理解度というものがある程度なければならぬし、教え方、話し方すべてが難しく、先生は、これを毎回しているのかと思い、凄さを理解できました。慣れも大事だと思うが、楽しむことが一番大切だと分かった。
- ・模擬授業をしてみて、どのように授業をすすめたらよいか理解できた。

## ④ ライフサイエンス

- ・食塩の摂取量を減らすための取り組みについて知れてよかったです。
- ・山形県は、全国の中でも塩分の摂取量が多いと分かり、こうした地域の大きな課題を解決するために、身近な所から取り組みを実行していくことが大切だと分かりました。(3)

- ・私が知っている取り組みは少なかったので、認知がされていないのではと感じた。そのことから、私ももっとアンテナを張って、情報を手に入れたいと思ったし、もっと伝える方法を考えるべきだと思った。
- ・普段よく食べていたものにも、たくさんのかくれた塩分があることを知れました。
- ・健康のためには、減塩が大切なことを知りました。
- ・減塩のことや健康によい食事のことについて知れておもしろかった。
- ・普段の食生活を気にしないといけないことが分かった。食材、調味料の選び方をすることが大切だと分かった。
- ・大学と会社や県とのつながりを学ぶことで、とても興味深い関りや結果があった。減塩は難しいことだと思うけど、工夫の仕方、健康に過ごせる一歩になるから大切なことだと思った。個人的に、栄養学に興味があったので、とても貴重な経験になった。
- ・食塩接種の課題と、身近な所で行われている対策について知ることができて良かったです。カップラーメンに含まれている食塩の量がとても多くて、これからは、食べる頻度を減らしていきたいと思いました。
- ・自分の将来を考えるいい機会でした。

## ⑤ 機械・エネルギー工学と社会

- ・有機 EL の仕組みが興味深く、おもしろかった。
- ・有機 EL は軽く、曲げられて特性が良いことが分かった。発電効率が良く、次世代の電池で今後活躍して欲しい。
- ・透明になるライトがすごいと思った。1.4mmなのがすごい。
- ・未来ハウスを実際に見ることができ、有機 EL についてくわしく学べたのが良かったです。(3)
- ・最後の見学で、実用的な有機 EL の利用方法が知れて面白かった。
- ・スマートハウスを見学して、近未来を感じる事ができた。また、2015 年時点で作られているということから、これからの科学の発展に大いに期待できると思いました。
- ・米沢と結びつきが深い有機 EL について、現在の技術の進み具合を理解した。
- ・大学院生向けの内容のため、理解するのが容易ではなかった。しかし、スマート未来ハウスを見て、未来にこんなものができてしまうと思うと感動した。
- ・最先端の技術に触れることができて良かった。最先端の技術を身近にするために、印刷可能にするだけの理、暮らしに取り入れたりして、技術と社会のつながりを感じることができた。研究をする際には、新しいものだけでなく、すでにある物をより身近にするための研究も大切だと感じたので、幅広く探究したい。
- ・A期で最も面白い講義だった。近未来的な家風を感じられて、とても興味深かった。
- ・技術ができて、コストなどの原因で、一般に普及させるというのは大変なことなんだと感じました。

## ⑥ デザインと工学

- ・地下を5mほど掘るなどの工夫で、室温を下げられるというのが驚きだった。電気代節約できるのでは？また、模型作りでは、かなり悪戦苦闘したが、満足のいくものもできた。
- ・模型作りなど、とても面白かったです。楽しかったです。(3)
- ・実際に家具を作るのがたのしかった。(3) 日常のものは、すごく計算されていると改めて思えた。
- ・実際に作ってみることができて、とても難しいことが分かりました。(2)
- ・他のグループの作品から、いろんな刺激をもらうことができた。
- ・何気ない空間でも、少しの工夫をするだけで、人々が集える明るい空間になるのだとわかった。そんな空間を作れたらとても嬉しいだろうなと感じた。

- ・自分で作って、自分で考える必要があり、一番大変だったけど、一番楽しかったです。家を新しく建てるので、とても参考になりました。床下空調について、家族に提案したいです。
- ・一から空間をデザインするのは難しかったけど、やっていくうちに、どんどんアイディアが出てきて、楽しく制作できた。
- ・みんなでアイディアを出し合い、とても良いものを作り上げることができました。
- ・実際に自分たちで、どのような状況で使ってもらいたいか、どのように組み合わせたら良くなるかを考えることができたので、とても面白かったです。人のことを考えてつくるのは、楽しいということが知れてよかったです。

## ⑦ マテリアルサイエンスと人間社会

- ・今回は、酸性よりの水の中性に近づけるための自然を生かした工夫を学ぶことができた。実際に天元台の山奥から湧いている地下水を採取し、酸性であることを確かめることができた。地下に潜ることは、普段できない貴重な体験だったので、記憶に残りやすいなと思った。自然の力を利用した問題解決という方法もあることを知れて良かった。
- ・普段体験できないようなことができて楽しかった。(3) 事前学習をすると、より内容が理解しやすいと思った。
- ・今回の研修で、天元台高原の鉱毒水の処理等を学習して、歴史や公民などで、中学の時に付けた前提知識をふまえて臨むことができ、とても面白かった。こんなにも身近な所でも鉱毒水処理をしていると知って、今、家庭で清潔な水を使用することができていることが、とてもありがたいことなのだというのを改めて実感できた。
- ・日常の生活では得られない体験ができてよかった。視野が広がったと思う。
- ・化学の視点を養えました。
- ・今回、天元台の地下にある鉱毒水を採取しに行ってみて、米沢の歴史を知ることができました。また、先人たちの努力の末、今の生活ができていることも改めて感じる機会になりました。A期は今回が最後でしたが、このコースで学んだことを今後活かしていきたいです。
- ・身近な所で鉱毒水の問題がでていることに驚いた。とてもいい経験になったと思う。
- ・貴重な経験ができて良かったです。(2) 登山、下山疲れました。
- ・とても楽しかったです。
- ・話を聞くだけでなく、実際に自分の目で確かめてみる事ができて、とても心に残った。
- ・鉱山について詳しく知ることができた。

## ⑧ バイオ産業科学と社会課題

- ・三倍体を用いることで、種類の異なるものも交配できるということに驚きました。また、子をつくれないのならば、米みたいに、種屋みたいになるのだろうかと考えた。
- ・数年ぶりに生きている魚を見ましたが、しなりや身など、インパクトがとても強烈でした。
- ・「三倍体」について詳しく知ることができて良かったです。(2) 実際に研究所に行って、魚を見れて面白かったです。(2)
- ・養殖場を間近で見れてとてもよかった。とても興味のある分野なので、将来の役に立つと思う。
- ・魚の泳ぐときのからだのしなりがきれいだなと思います。魚の仕組みも面白いなと思います。(2)
- ・ニジサクラとサクラマスと血球の大きさを観察するのが楽しかった。沢山血球があり、その大きさを比べたり、血球と血球の間隔の大きさを比べたりして、面白かった。また、メタノールやオレンジ色、青色の染色液などの役割も、合わせて知ることができて良かった。
- ・魚のバイオテクノロジーについては、知識がなかったため、今回の学習はとても楽しかったです。三倍体が野菜、植物に活用されていることを知り、とてもうれしかったです。
- ・今回、水産試験場の方々の講演をきいたり、実際に見学してみて、こういった形で地域に貢献したり

するのも、仕事として楽しそうだと感じました。また、こういう機会があれば参加してみたいと思いました。

・A期の体験を通して、文理選択を悩むようになりました。自分の興味関心を広げるきっかけになったので、もっと広げていきたいと思います。ニジサクラという魚の種類を初めて知りました。山形県の特産品もさらに知り、深めたいと思います。

・実験をしたり、実物を見たりして、理解を深めることができたと思う。

・興譲館の近くに、面白い研究をしている場所があるのを初めて知った。遺伝子の研究をやりたいと思った。他の動物にも応用すれば良い実験ができると思った。

・第1回、第2回、第3回と様々な視点からバイオテクノロジーを見て、自分の好きな分野などが少し分かった。進路の選択肢も広がった。とても楽しかった。

・山形県の特産品になりうるものに、サイエンスが関わっていて、その成果が出たことは素晴らしいと思った。色々な技術を組み合わせることで、よりよい物ができることをすごいと思った。

・ニジマスとニジサクラを実際に見て、とても勉強になったし、二倍体と三倍体で、組み合わせを制御する技術について知れたので楽しかったです。

・生きている魚に触る機会が今は全くないので、さわれてよかった。偽雄のなり方がよく分からなかった。ニジサクラを今度食べてみたい。nがなぜ1個どこかに行くかもよく分からなかった。

・A期で一番楽しみにしていた回で、とても楽しむことができた。機会があったら、またこのようなイベントに参加したい。

・魚を生で見るのが初めてだったので、とても楽しかったです。ニジサクラを知っていたけど、食べたことも見たこともなかったので、今回体験させていただき、とても嬉しかったです。

## ⑨ 医療の最先端

・感染症は身近な事なので、とても興味深い学問だった。特に、動物からの感染も多いことを知れた。

・コロナ禍の今、このような感染症に関する講義を聞くことができたのはとても貴重だと思うし、これから先、また、パンデミックが起こった時に、自分は何をするべきなのか分かった。また、国の間での医療の格差が少しでも改善されるといいなと思った。

・普段なかなか聞けない話を、専門家の目線から聞いたのでとても興味深かったです。新型コロナの次のパンデミックは起きないでほしいけど、起きる可能性が高いので、その時には、冷静に判断できるようにしたいです。

・感染症は繰り返し流行しており、その中に、動物由来のものが多いと知って驚いた。先生に質問でき、視野が広がったと思う。

・私は感染症にはあまり詳しくはなく、コロナの流行ですこしずつ意識はしてきた時期に、この講義を聞いて本当にいい時間を過ごすことができました。人間と動物との病気に関する関係は、切っても切れないことだと思うし、これから獣医を目指す身としては、自分も自分なりにいろんなことを研究してみたいなと思いました。

・面白かったです。

・感染症はコロナやインフルエンザなど身近な問題であるので、とても興味をもつことができた。お話をお聞きして、臨床と研究のどちらもできる医師になりたいと思うようになった。

・医療の現状や理解、知識があることで、様々な国へ貢献出来たり、違った社会の見方ができるようになれることが知れてよかった。

・感染症に対しての理解を深めることができた。

・感染症がはやりやすい所があるのを知った。まだ設備が整っていないところとかあるのが分かったら、国同士で関わって、助け合う必要があると思った。(2)

・感染症という身近な話題の分野について、少しでも理解することができ、面白く、とても楽しく感じ

た。明るい先生の話は、やはり聞いていて面白いなと思った。経験から更に医療の分野を深めることは、とても魅力的でやりがいがあるだろうと感じた。

- ・「国境なき医師団」について、興味があったので、お話が聞けて良かった。これから医療の道に進んでいく中で、英語は大切だと思った。自分の夢をかなえられるように頑張りたい。
- ・感染症の現状はもちろん、国際的な医療の様々な面を知ることができました。(3)
- ・今回の講義は少し難しかったけれど、気候変動や動物が関わることで、新興感染症が広がったり、感染の発端になることが分かりました。